事例No.	2109
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	石川県金沢市

事例区分	DX

タグ	・交通事業 ・ICT ・観光

事例種類	交通

事例内容・タイトル

公共交通利用を促進する実証実験

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

129 公共交通利用を促進する実証実験【石川県金沢市】

事業の概要

○ 従来、バスの市内１日フリー乗車券は、窓口によるチケット販売のみで、コロナ禍以前は、混雑期のチケット購入に際し、待ち時間が長く不便であるという声が上がっていた。

○ そのため、金沢MaaSコンソーシアムでは、フリー乗車券を「いつでも（時間）、どこでも（場所）、キャッシュレスで購入可能」「人数分の乗車券を一括購入可能」「スマートフォンを提示することでチケットレス乗降が可能」なデジタル交通サービス『のりまっし金沢』を令和３年10月から提供を開始した。

「のりまっし金沢」



○ 現在、バスの１日フリー乗車券のほか、私鉄鉄道線で利用できるフリー乗車券も複数取り扱っている。

○ 利用のたびに運賃・料金を支払うことなく、繰り返しの利用において決済の手間や追加費用の不安がない定額制サービス（サブスクリプション）の利用スタイルを提案することで、観光・ビジネスはもちろん、日常の移動における公共交通の利用拡大を目指しています。

【参考情報①】 人口：45.1万人
関連URL：
https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kotsuseisakuka/gyomuannai/1/1/18235.html
（金沢市HP：デジタル交通サービス「のりまっし金沢」）

【参考情報②】地方創生推進交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/souseikoufukin.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー


取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）


人口減少、高齢化に加え、コロナ禍における生活様式の変化により、交通事業者や行政等が公共交通の持続可能性に強い危機感を持ったことから、共通マインドのもと一致団結して、デジタルを活用することで、公共交通の持続可能性と住民サービスの向上を図ることとしました。

（金沢市）


導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？


デジタル交通サービス「のりまっし金沢」の開発に当たっては、令和３年度の内閣府の地方創生推進交付金を活用しました。


事業の近況を教えてください。

令和４年３月末の会員登録数は約7,300人（市内約3,100人、市外4,200人）で、昨年10月～今年３月までのバスの市内１日フリー乗車券（デジタル）の販売実績は約7,000枚（デジタル販売率：約4.5%）でした。


昨年11月から３月まで実施した市民利用モニター（市単独事業）の効果もあり、少しずつではありますが市民の中に「のりまっし金沢」が定着しつつあります。

また、より多くの市民及び観光客にご利用いただくために、５月より、お出かけがもっと楽しくなるクーポン機能等を追加しました。

今後も、交通事業者等と連携し、公共交通の利用促進やまちなかの賑わいの創出につながる企画乗車券や各種取組を展開していきます。

★担当：金沢市都市政策局 交通政策課★

令和3年度事業費　5,000千円
（うち、地方創生推進交付金（内閣府）　2,500千円）